

KVMスイッチ(4ポート)[PG-SB203], KVMスイッチ(8ポート)[PG-SB204]

(1) 概要

本装置は、1 セットのモニター/キーボード/マウスを複数のサーバで共有するための切替器で、4 台/8 台のサーバを切り替えることができます。本装置をカスケード接続することにより、接続できるサーバ数を増やすことができ、最大構成は 8 ポートKVMスイッチ 9 台で 64 台のサーバを切り替えることができます。

4 ポートKVMスイッチは、外付装置またはフラットディスプレイ[PG-R2DP2 等]への内蔵搭載として使用できるのに加え、ラックマウント変換機構「PG-R1CK19」を別手配することによりカラー液晶ディスプレイの横に縦置き設置することができます。

8 ポートKVMスイッチは、外付装置または通常設置領域への搭載に加え、スタンダードラックの縦置設置領域への搭載が可能です。



図1 外観写真 (左:4ポート、右:8ポート)

(2) 特長

① サーバインターフェースとして、USB をサポート

本装置では PS/2 に加え USB 接続もサポートしています。

オプションケーブルの選択のみで簡単に USB サーバを接続できます。

PS/2 インターフェースを持つサーバは、PS/2 インターフェースのみをサポートし、USB インターフェースのみを持つサーバは、USB 接続をサポートします。

② フラットディスプレイ装置へ搭載可能(4ポートのみ)

4ポートKVMスイッチ1台をフラットディスプレイ[PG-R2DP2, PG-R1DP3(版数 02A 版, S/N:10001 以降), PG-R2DP1]へ内蔵することが可能。(図 4 参照)

1Uのスペースで4台のサーバ切り替え機能及びコンソール機能の実現でき、ラックスペースを有効に使用できます。

また、ラックマウント変換機構「PG-R1CK19」によりカラー液晶ディスプレイの横に縦置き設置が可能です。(図 5 参照)

③ スタンダードラックの縦置設置領域への搭載(8ポートのみ)

スタンダードラックでは縦置設置領域に8ポートKVMスイッチを搭載することにより、通常のラックスペースを占有しないため、ラックの拡張性に貢献します。(図 6 参照)

④ ホットキー切り替え機能

操作パネルのセレクトスイッチによる接続サーバの切り替えに加え、キーボードで接続サーバを切り替えること(ホットキー切り替え)ができます。

ホットキー切り替え時は、OSD(On Screen Display)表示され接続サーバの電源投入状態が確認でき、上下カーソルキーまたは数字キーにより接続サーバを選択、切り替えることができます。

⑤ カスケード接続機能

本装置は、2段までのカスケード接続が可能ですので、将来のシステム規模拡大へ柔軟に対応することが可能です。

なお、4ポート KVM スwitchと8ポート KVM スwitchの混在接続も可能ですので、接続サーバの台数にあわせた最適な構成を構築できます。

また、従来モデルの KVM スwitch PG-SB201 及び PG-SB202 との混在接続も可能です。

但し、マスターが PG-SB203/PG-SB204 でカスケード接続用ケーブルが PG-CBLDP12(PS/2 1.8m)のみサポート。

* PG-SB104、PG-SB105 との混在接続はできません。(詳細は留意事項の⑥を参照)

(3) 仕様

名称		KVMスイッチ(4ポート)	KVMスイッチ(8ポート)	(参考: 従来モデル)
型名		PG-SB203	PG-SB204	PG-SB201, PG-SB202
接続台数		4台	8台	←
カスケード接続		4ポートKVMスイッチをマスターとした場合 最大構成はスレーブに4台の8ポートKVMスイッチを接続した場合で 32台のサーバが接続可能 8ポートKVMスイッチをマスターとした場合 最大構成はスレーブに8台の8ポートKVMスイッチを接続した場合で 64台のサーバが接続可能		←
サーバとの インターフェース仕様		・PS/2キーボード/マウスインターフェース(OADG準拠) ・USB 1.1準拠(Full Speed対応、HIDコンポジットデバイス)		← USB1.1(Low Speed)
接続 コネクタ ※詳細は 図2を参照	共通 コンソール ポート	モニタ:VGA D-Sub15Pin メス ×1 キーボード:PS/2 ミニDIN 6Pinメス ×1、USB Aタイプ ×1 マウス:PS/2 ミニDIN 6Pinメス ×1、USB Aタイプ ×1		← キーボード:PS/2 ミニ DIN 6PIN メス ×1 マウス:PS/2 ミニ DIN 6PIN メス ×1
	サーバ ポート	D-Sub15Pin メス ×4 (モニタ/キーボード/マウス共通)	D-Sub15Pin メス ×8 (モニタ/キーボード/マウス共通)	←
ホットキー切り替え		ホットキーモード(キーボードでサーバを切り替える機能)は2種類あり、OSD(On Screen Display)表示が異なる。各モードに移行後、数字キー、ファンクションキー、カーソルキーで選択し、Enterキーで決定、Escキーでキャンセルとなる。詳細は取扱説明書をご確認ください。 1) ホットキーモード1 Ctrlキー+Altキー+Shiftキー同時押下またはScroll Lockキーを連続2回押下することによりホットキーモードとなる。 2) ホットキーモード2 Ctrlキーを連続2回押下することによりホットキーモード2となる。 ※ホットキーモード中はキーボード(切り替えのためのキーを除く)及びマウスは使用できない。但し、設定変更によりマウスをホットキー切り替えに割り当て可能。		←
オートスキャン		ホットキーモード移行後、数字キーの0を押下することによりオートスキャンモードに移行する。一定の周期で電源が投入されているサーバを自動的に切り替えることが可能。切替周期は上下カーソルキーにより3/5/10(初期値)/20/40/60秒に変更可能。		←
表示およびボタン ※詳細は図3を参照		Power LED (×4) サーバの電源投入状態を示す。 Select LED (×4) 選択されているポート番号を示す。 Select スイッチ (×2) ◀ ▶キー押下で1~4のポートに接続されているサーバを選択する。 Auto Scanボタン 本ボタンを押下でオートスキャンモードになる。本ボタンを再度押下で表示している画面を選択し通常状態となる。	Power LED (×8) サーバの電源投入状態を示す。 Select LED (×8) 選択されているポート番号を示す。 Select スイッチ (×2) ◀ ▶キー押下で1~8のポートに接続されているサーバを選択する。 Auto Scanボタン 本ボタンを押下でオートスキャンモードになる。本ボタンを再度押下で表示している画面を選択し通常状態となる。	Select スイッチ (×4) または Select スイッチ (×8) Select スイッチにより、 ポートを直接選択。
VCCI		クラスA	クラスA	クラス B
質量		約0.7kg	約2.1kg	約 0.7kg(SB201) 約 2.7kg(SB202)
外形寸法 (W×D×H)		195 mm×114 mm×43 mm (Hにゴム足3.0mm含む)	437 mm×140 mm×45 mm (Hにゴム足 3.0 mm含む)	195mm×104mm×40mm (SB201)[ゴム足含まず] 437mm×210mm×42mm (SB202)[ゴム足含まず]
入力電源		DC5V(電源アダプタ) 電源アダプタの別途手配が必要。但し、17型フラットディスプレイ(PG-R2DP1/R2DP2)に搭載時は不要。	AC100V、単相、 50/60Hz、平行2ピンアース付き	←
消費電流		DC 5V / 1.5A 注)	AC 100V / 0.3A	0.3A(SB201) 0.06A (SB202)

消費電力	7.5W	8W	
添付品	保証書 1部、取扱説明書 1部 ゴム足 4個(外付使用時)	保証書 1部、取扱説明書 1部 ラック固定用ネジ 4個 ゴム足 4個(外付使用時) ACケーブル(2m) 1本	← AC アダプタ(SB201)

注) PS/2 接続、フラットディスプレイ接続時には消費電流は 0.5A になります。

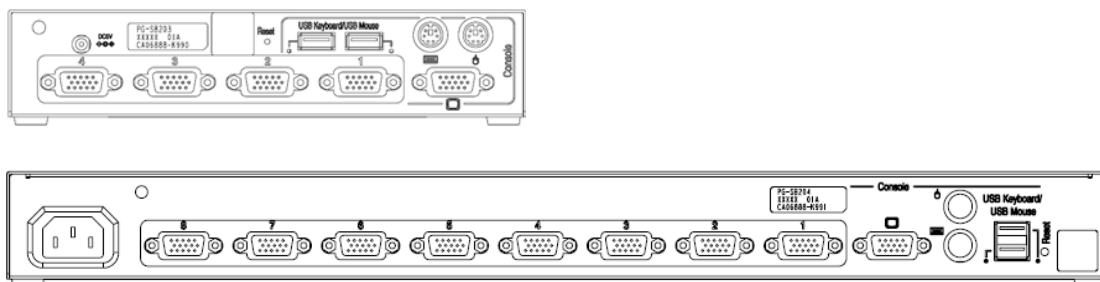


図 2 装置背面図 (上段 : 4 ポート、下段 : 8 ポート)

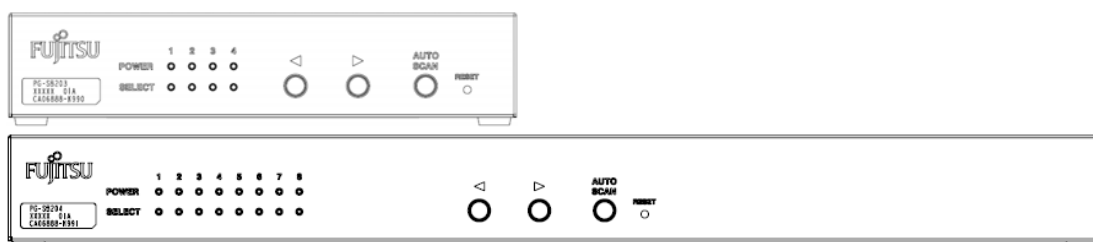


図 3 装置正面図 (上段 : 4 ポート、下段 : 8 ポート)



図 4 本装置(4 ポートのみ)をフラットディスプレイに搭載時の外観写真

注)フラットディスプレイ「PG-R1DP3」搭載時は電源アダプタ(PG-SBPU2)の別途手配が必要となります。

注)PG-SB203 を搭載可能な PG-R1DP3 は装置版数 02A, S/N: 10001 からです。

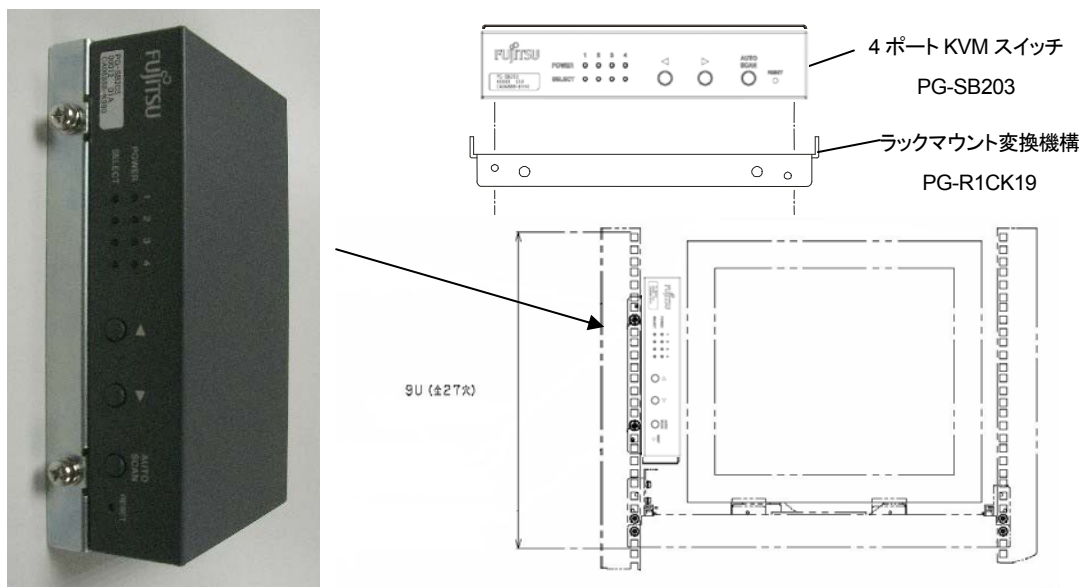


図5 ラックマウント変換機構取り付け(4ポートのみ)外観写真と取り付け概要

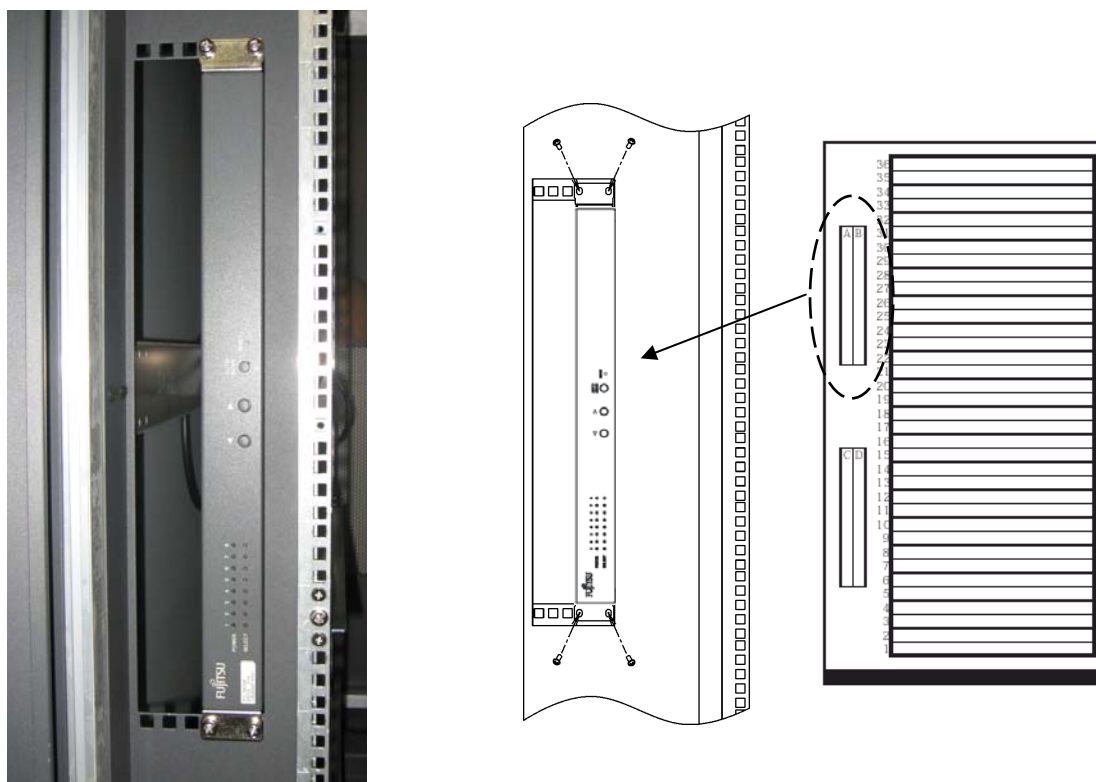


図6 ラック縦設置領域への搭載(8ポートのみ)写真と取り付け概要

(4) オプション関連(別途手配品)

名称	型名	仕様・適用		(参考: 従来モデル)
		KVMスイッチ(4ポート) [PG-SB203]	KVMスイッチ(8ポート) [PG-SB204]	PG-SB201, PG-SB202
KVMケーブル (PS/2)	PG-CBLDP12 PG-CBLDP13 PG-CBLDP14	本装置とサーバを接続するために必要な専用接続ケーブルで長さは1.8m/3m/5mがある。カスケード接続で本装置同士を接続する場合はPS/2用1.8m(PG-CBLDP12)を使用すること。 ※カスケード接続の本装置分と接続サーバ台数分の合計数分のケーブルが必要。 例:本装置1台で4台のサーバを接続 → 4本(0+4)必要 本装置3台で9台のサーバを接続 → 11本(2+9)必要		・サーバ接続ケーブル —PS/2 接続用 PG-CBLDP06/CBLDP07/ CBLDP08
KVMケーブル (USB)	PG-CBLDP15 PG-CBLDP16 PG-CBLDP17			—USB 接続用 PG-CBLDP09/CBLDP10/ CBLDP11
電源アダプタ	PG-SBPU2	4ポートのみ別途手配が必要。 但し、17型フラットディスプレイ[PG-R2DP1/R2DP2]に搭載する場合は不要。		4ポートのみ。但し、装置添付のため、別手配不要。
ラックマウント 変換機構	PG-R1CK19	4ポートのみ、取り付け可能で縦方向にラックの支柱へ取り付ける際に必要。 CRT/KB格納テーブルを使用している場合は、液晶ディスプレイの横にある空きスペースに搭載可能。 フラットディスプレイ[PG-R2DP1/R2DP2, PG-R1DP3]に搭載する際は不要。 注)PG-SB203を搭載可能なPG-R1DP3は装置版数02A, S/N:10001からです。		同左

(5) 接続形態

接続形態は、図7をご参照ください。

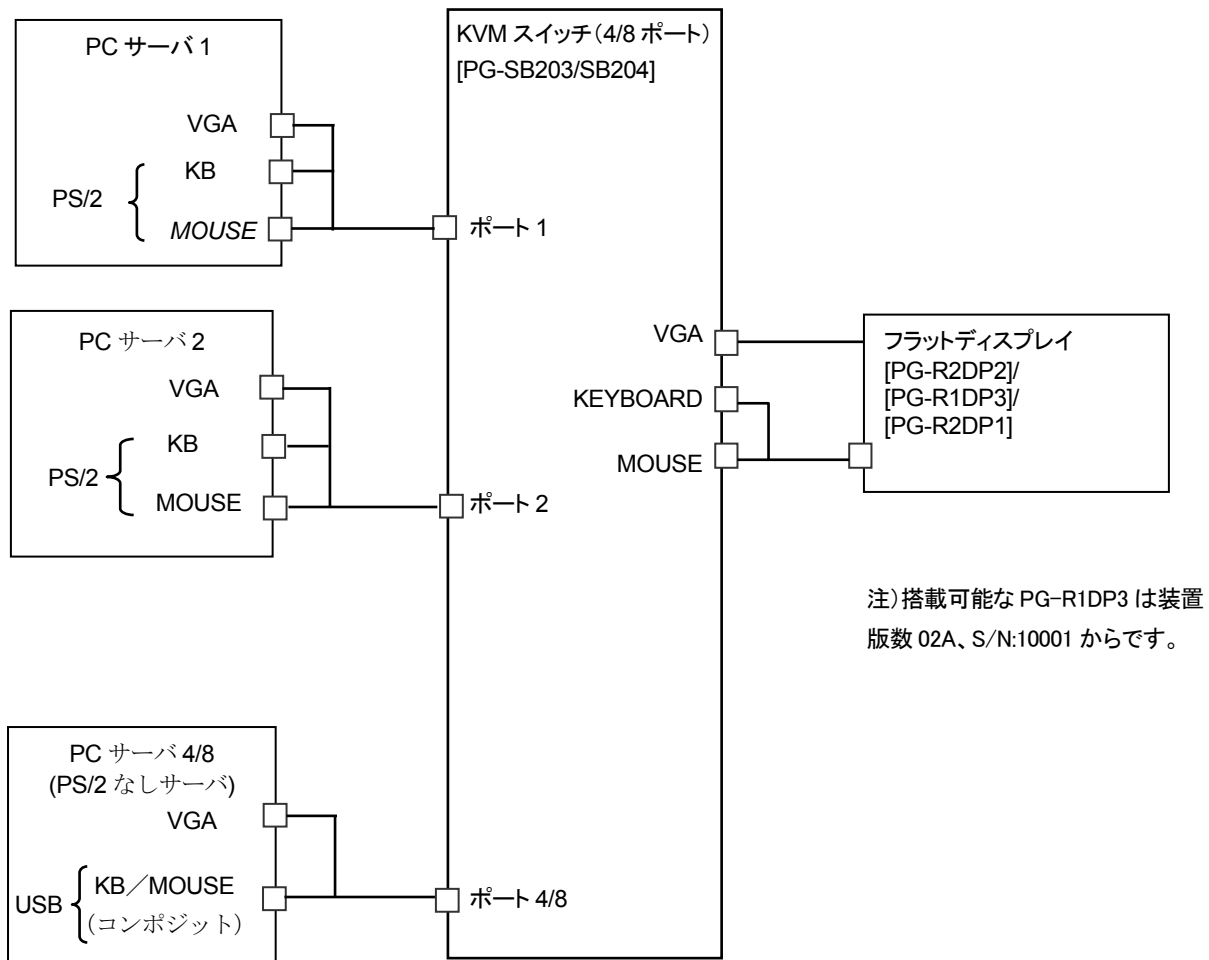


図7 接続図

(6) 接続形態

①PRIMERGY BX600/BX600 S2 シャーシの接続について

PRIMERGY BX600/BX600 S2 シャーシを接続する場合、4 ポート KVM スイッチ(PG-SB203)と8ポート KVM スイッチ(PG-SB204)のカスケード接続はできません。カスケード接続する場合には、それぞれ 4 ポート同士、8 ポート同士で接続してください。

②KVM スイッチおよび KVM スイッチに接続されている機器(フラットディスプレイ、モニタ、キーボード、マウス)交換について

KVM スイッチおよび KVM スイッチに接続されている機器(フラットディスプレイ、モニタ、キーボード、マウス)は、電源投入したままでは交換できません。交換を行う場合は、接続されている全てのサーバ(ブレードサーバが接続されている場合は、ブレードシャーシも含む)と全ての機器の電源を切断する必要がありますので、ご注意ください。

電源を切断しない場合には、装置の破損、誤動作の原因となることがあります。

③サーバの USB インターフェースの使用について

PS/2 インターフェースを持つサーバは、PS/2 インターフェースのみのサポートし、USB インターフェースのみを持つサーバは、USB 接続をサポートします。

④8 ポート KVM スイッチのラック搭載について

ラックの通常設置領域への搭載(水平方向)は、背面のみの搭載になります。(前面への搭載はできません。)なお、操作パネルは分離できません。

⑤抜け防止のリリースタイは、確実に取り付けてください。

⑥KVM スイッチと KVM ケーブルの接続については、下表を参照願います。

		PG-SB203/204	PG-SB201/202	PG-SB104/105
KVM(CRT/KB)ケーブル	PG-CBLDP17			
	PG-CBLDP16	○	×	×
	PG-CBLDP15			
	PG-CBLDP14			
	PG-CBLDP13	○	×	×
	PG-CBLDP12			
	PG-CBLDP11			
PG-CBLDP10	PG-CBLDP10	×	○	×
	PG-CBLDP09			
	PG-CBLDP08			
PG-CBLDP07	PG-CBLDP07	×	○	○
	PG-CBLDP06			
	PG-CBLDP04			
PG-CBLDP03	PG-CBLDP03	×	×	○
	PG-CBLDP02			
	PG-CBLDP02			
カスケード接続	PG-SB203/204	○ *1	○ *2	×
	PG-SB201/202	○ *2	○ *3	○ *3
	PG-SB104/105	×	○ *3	○ *3

○:接続可能 ×:接続不可

*1:KVM ケーブル(PG-CBLDP12)にて接続することでカスケード可能です。

*2:KVM スイッチ(PG-SB203/204)をマスターとして、KVM ケーブル(PG-CBLDP12)にて接続することでカスケード可能です。

*3:KVM ケーブル(PG-CBLDP06)にて接続することでカスケード可能です。

⑦フラットディスプレイ PG-R1DP3 の S/N:10000 以前の装置には、PG-SB203 を搭載できません。

⑧システム構成図(外付編)の KVM スイッチ使用時の留意事項について

PRIMERGY(新サーバ)とKVMスイッチの接続可否に関する表で×非サポートと記載されている組み合わせは、基本的には評価が未実施のためです。

以上